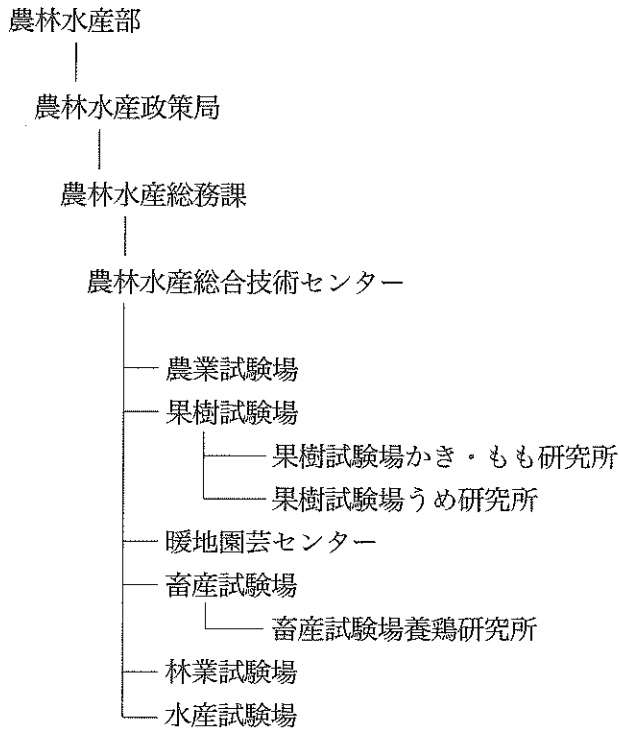


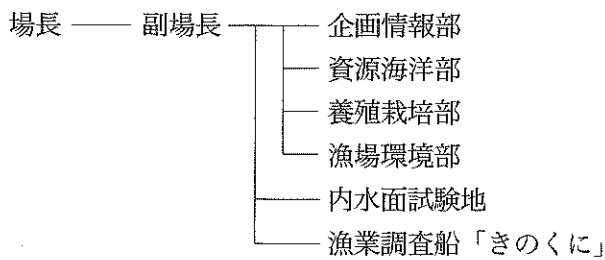
水産試験場概要

I 機構と組織

1) 機構



2) 内部組織



3) 職員の構成

区 分	行政職	研究職	現業職	計
場長		1		1
副場長		1		1
企画情報部		2	2	4
資源海洋部		5		5
養殖栽培部		4	2	6
漁場環境部		4		4
内水面試験地		3	1	4
漁業調査船	7			7
	7	20	5	32

3) 職員の職務分担

部 名	職 名	氏 名	事務分担
	場 長	小川 健	場の総合企画及び総括
	副場長	竹内 照文	場の総括補佐、人事、服務、庁舎の管理 予算の総括
企画情報部	部 長 (副場長兼務)	竹内 照文	部の総括・企画調整
	主任研究員	小久保友義	成果の普及・公表、人工魚礁の効果調査 に関すること
	副主査研究員	御所 豊穂	人工衛星、高度回遊性魚類に関すること
	用務員	田所 恵子	庁舎内外の清掃及び雑務
	用務員	田中 千秋	庁舎内外の清掃及び雑務
資源海洋部	部 長	吉本 洋	部の総括・企画調整
	主任研究員	吉村 晃一	海洋観測、黒潮変動に関すること
	副主査研究員	内海 遼一	卵稚仔調査と資源管理に関すること
	副主査研究員	安江 尚孝	定置網、船曳網漁業に関すること
	副主査研究員	土居内 龍	まき網漁業と資源管理に関すること
養殖栽培部	部 長	坂本 博規	部の総括・企画調整
	主任研究員	浜地 寿生	養殖技術（複合養殖、餌料開発）に関す ること
	研究員	堅田 昌英	魚病対策・魚類防疫に関すること
	研究員	南 友樹	魚類の種苗生産に関すること
	現業技能員	佐々木明生	調査研究の補助
	現業技能員	下屋敷 功	設備の保守管理
漁場環境部	部 長	木村 創	部の総括・企画調整
	主査研究員	奥山 芳生	養殖漁場環境、赤潮・貝毒に関すること
	主査研究員	山内 信	藻類の種苗生産と藻場造成に関すること
	副主査研究員	高橋 芳明	漁場環境改善、生物モニタリングに関す ること
内水面試験地	主任研究員	加藤 邦彰	魚類防疫対策に関すること
	主査研究員	藤井 久之	アユ冷水病に関すること
	副主査研究員	原田 慈雄	アユ資源に関すること
	現業技能員	佐竹 巧三	施設整備に関すること
漁業調査船	船 長	東田 和行	船舶の管理、運航及び海洋調査に関する こと
(きのくに)	機関長	亀谷 弘	”
	副主査航海士	小西 寛弥	”
	副主査機関士	平見 謹一	”
	副主査航海士	半田 憲生	”
	副主査航海士	河田 進一	”
	副主査機関士	堀 浩一	”

II 業務

1) 試験研究項目一覧

事業名	予算額	財源内訳			
		国庫補助	国庫委託	雑入	一般財源
水産試験場費	94331	1,270	5,199	22,284	65,578
水産試験場運営	21,944				21,944
内水面試験地運営	4,575				4,575
調査船運航	10,220				10,220
高度回遊性魚類調査	3,200			3,200	
くろしおふれあい講座	1,554				1,554
漁業資源・漁場調査と情報提供	16,386	270		12,737	3,379
広域沿岸海況の短期予報研究	1,000			1,000	
海産魚白点病の防除対策の開発	1,390				1,390
定着性魚類増殖技術開発	1,399				1,399
養殖漁場環境保全推進	5,199		5,199		
造成藻場食害対策試験	3,404				3,404
ナノ空間吸着剤による漁場浄化	2,447			2,447	
養殖衛生管理体制整備	2,000	1,000			1,000
アユ資源モニタリング	4,211			2,900	1,311
紀州の本クエブランド化に向けたクエ 種苗生産安定化技術開発	12,977				12,977
シラスの漁場形成機構の解明と漁業者への情報提供	2,425				2,425
水産業振興費	3,245				3,245
資源管理体制・機能強化	2,405				2,405
大型クラゲ対策	185				185
栽培漁業推進対策	489				489
漁業公害防止対策	167				167
漁業構造改善費					
中層浮魚礁効果調査	1,086				1,086
	98,662	1,270	5,199	22,284	69,909

III 業績

1 外部に発表した事項

1) 学会誌等論文

内容	発表者	雑誌名
魚類の補食回避に網生簀を利用したヒロメ早期 養殖技術の開発	木村 創 山内 信 能登谷正浩	水産増殖 55 (3) 467 - 473

紀伊水道東部海域における稚アユの漁獲量と成長特性	吉本 洋	水産増殖 55 (2) 205 - 212
紀伊半島西岸域における稚アユの成長	吉本 洋 藤井久之 中西 一	日本水産学会誌 73 (6) 1057 - 1064
Age and growth of threeline grunt <i>Parapristipoma trilineatum</i> along the south-western coast of Kii Peninsula, Japan	R.Doiuchi T.Kokubo M.Ogawa	Fisheries Science 73 : 777 - 783
Molecular evidence for the taxonomic status of three species of <i>Sphyraena obtusata</i> group (Perciformes:Sphyraenidae) from East Asia	R.Doiuchi T.Nakabo	Ichthyological Research 54:313 - 316
紀伊半島南西岸におけるイサキ, <i>Parapristipoma trilineatum</i> の成熟と性比	土居内 龍 小久保友義 小川満也	水産増殖 55(4):529 - 534

2) 学会等の口頭発表

表 題	発表者	学会名等
和歌山県におけるカジメ属の生物特性	田中俊充 永井宏平 四ツ倉典滋	日本応用藻類学研究会
和歌山県における藻場造成の現状と問題点	木村 創 山内 信	日本応用藻類学研究会
セイヨウオゴノリを用いた複合養殖	高橋芳明 奥山芳生 浜地寿生 木村 創 能登谷正浩	日本藻類学会第 32 回大会
褐藻カジメとクロメの地域間交配株の温度特性	木村 創 田中俊充 能登谷正浩	日本藻類学会第 33 回大会 (ポスター)
ヒジキ漁場造成に係る磯掃除の効果と流速および水深の検討	木村 創 山内 信 高橋芳明 能登谷正浩	日本藻類学会第 34 回大会 (ポスター)

熊野灘におけるシビ仔（クロマグロ当歳魚）の漁獲について	御所豊穂	日本水産学会近畿支部例会
紀伊水道外域より採集されたエボシダイ科スジハナピラウオ属の1種	土居内龍 内海遼一 中坊徹次	日本魚類学会年会（2007年10月8日，北海道大学）
紀伊半島南西岸におけるイサキの資源変動と加入特性	土居内龍 小久保友義 小川満也	日本水産学会近畿支部後期例会（2007年12月1日，京都大学）
紀伊水道域のアユの生態特性	原田慈雄	日本水産学会シンポジウム

3) 研究会報告

表 題	発表者	研究会誌名
Protein extraction for 2 - DE from the lamina of Ecklonia kurome(laminariales): Recalcitrant tissue containing high levels of viscous polysaccharides	永井宏平 四ツ倉典滋 池上春香 木村 創 森本康一	Electrophoresis 2008, 29, 672 - 681

4) 委託事業報告書等刊行物

- (1) 平成 18 年度 多元的な資源管漁業の推進事業報告書
- (2) 平成 19 年度 養殖水産物ブランドニッポン推進対策事業（環境保全型養殖普及事業）報告書
- (3) 平成 19 年度 養殖水産物ブランドニッポン推進対策事業（複合養殖実証事業）報告書
- (4) 平成 18 年度 和歌山県農林水産総合技術センター 水産試験場事業報告
- (5) 漁海況速報（週刊）
- (6) 沖合黒潮調査速報（黒潮横断観測実施ごと発行、2006-No.3～6）
- (7) 人工衛星画像海況速報（2006-No.60～191、2007-No.1～59）

5) 研究会等講演

月	内 容	提 供 先	提供者名
6	ヒジキの藻場造成について カツオの生態と魚群探査	フレッシュミズ交流会	山内 信 小久保友義
	組織培養技術を利用した環境耐性海藻の開発	第 17 回国際バイオ EXPO	田中 俊充 木村 創

8	古座川流域の冷水病菌の分布調査結果について 冷水病の発生状況 Chattonella ovata 赤潮の発生について	古座川流域アユ冷水病分布調査結果報告会 河川漁協組合長会議 赤潮対策会議	藤井 久之 藤井 久之 竹内 照文
9	古座川流域の冷水病菌の分布調査結果について	古座川流域アユ冷水病分布調査結果報告会	藤井 久之
11	鋳物礁を用いた藻場造成 アユ増殖手法再考	2007 テクノクラスター ジャパン 河川漁業協同組合役職員研修会	田中 俊充 木村 創 原田 慈雄
12	サワラ資源回復計画 浮き魚資源（その他の魚種）の状況と漁海況 紀伊半島沿岸周辺海域の環境と動植物相の変遷	第1回瀬戸内海区漁業種別漁業者協議会 まき網部会 シンポジウム- 気候変動研究	内海 遼一 吉本 洋 山内 信 土居内 龍
1	海産稚アユの漁獲量子測について 熊野灘におけるシビ子の漁獲について 田辺湾内ノ浦の過去、現在、そして未来のあるべき姿について	海産稚アユ需給調整協議会 漁村青年協議会研修会 アマモ場造成勉強会	原田 慈雄 御所 豊穂 竹内 照文
2	タチウオの話 イサキの資源回復について	漁村青年協議会研修会 太平洋区漁業種別漁業者協議	内海 遼一 土居内 龍
3	古座川流域の冷水病菌の分布調査結果について サワラの漁獲状況について ヒジキ漁場造成の取り組み支援	古座川流域アユ冷水病分布調査結果報告会 第2回瀬戸内海区漁業種別漁業者協議会 磯焼け対策全国協議会シンポジウム	藤井 久之 安江 尚孝 山内 信 木村 創 高橋 芳明

6) 雑誌、新聞、テレビ・ラジオ

(1) 一般雑誌

題名	発表者	発表紙
がんばってます 水試日記	堅田 昌英	養殖 (緑書房) 2007年7月号
イサキを取り巻くきびしい現状	土居内 龍	釣りサンデー 4月号

(2) 新聞

記事見出し (内容)	掲載年月日	掲載誌名
田辺湾のヒジキ復活へ	2007.3.6	紀伊民報
養殖ヒロメ不漁	2007.3.16	〃
総合学習で県水産試験場へ	〃	南紀州新聞
藻場づくり冬に磯焼け対策	2007.4.14	紀伊民報
県内のカツオ 99年に次ぐ不漁	2007.6.16	紀伊民報
県水産試験場まとめ		
魚を分類料理 和深小の41人	2007.6.24	南紀州新聞
魚に触れ合い味わおう	2007.7.24	〃
ふれあい講座が人気	2007.8.5	〃
5月古座川上流アユ大量死	2007.8.8	毎日新聞
冷水病が原因と断定		
田辺湾のヒジキ復活へ大規模に繁殖実験	2007.8.9	紀伊民報
漁場での育成差顕著に	〃	〃
海の不思議など講演	2007.8.12	南紀州新聞
磯焼け対策に光り	2007.11.21	新報
増やそう「海のゆりかご」	2007.12.2	紀伊民報
メイチダイに可能性	2007.12.8	南紀州新聞
安心できる養殖魚に	〃	紀伊民報
06年イサキ漁獲量 過去10年間で最低	2007.12.11	〃
一石二鳥の海藻に期待	2007.12.28	〃
浄化と食用でオゴノリ研究		
ヒロメ養殖に朗報 県水試が新技術開発	2008.1.10	紀伊民報
ペットボトルで種苗生産		
タチウオ県産1歳魚 30年前より早熟	2008.2.6	〃
2ヶ月先までわかる 県が漁場予報システム	2008.2.19	読売新聞
今春から5年計画 人工衛星でデータ収集		
ヒロメ不漁 魚食害で3年連続串本や田辺 高い海水温が影響	2008.2.29	紀伊民報

(3) テレビ・ラジオ等

内 容	提 供 先	提 供 者
紀南地域の振興とトビウオ料理について	CS旅チャンネル	竹内照文

7) 研究発表会

(1) 成果発表会（漁場環境部）

①日 時

平成 19 年 10 月 30 日

②場 所

比井崎漁業協同組合 漁村センター

③内 容

- ・和歌山県沿岸における藻類の生育状況とその特徴について
(発表者：和歌山産業振興財団 副主査研究員 田中俊充)
- ・藻場造成の現状と食害対策の取り組みについて
(発表者：水産試験場 主査研究員 山内 信)

(2) 養殖衛生対策会議

①日 時

平成 19 年 12 月 6 日

②場 所

農林水産総合技術センター水産試験場学習ホール

③内 容

- ・魚類養殖における衛生管理
(発表者：食品安全企画課 副主査 諏訪 剛)
- ・複合養殖について
(発表者：水産試験場 主任研究員 濱地寿生)
- ・本県における増養殖技術開発の取り組み
(発表者：水産試験場 研究員 南 友樹)
- ・水産防疫と水産用医薬品の適正使用について
(発表者：水産試験場 研究員 堅田昌英)

(3) 水産試験場成果発表会

①日 時

平成 19 年 2 月 4 日

②場 所

紀南文化会館中ホール

③内 容

- ・一都五県が協力、「海の天気図！」
(発表者：水産試験場 副主査研究員 御所豊穂)
- ・河川環境中からの冷水病菌の検出状況
(発表者：水産試験場 主任研究員 藤井久之)

- ・日置川ダム下流域におけるアマゴの冬期遊漁利用の可能性
(発表者：水産試験場 副主査研究員 原田慈雄)
- ・資源低水準期のタチウオの成長
(発表者：水産試験場 副主査研究員 内海遼一)
- ・近年の紀南沿岸におけるイサキの漁獲
(発表者：水産試験場 副主査研究員 土居内 龍)
- ・海産白点虫 *Cryptocaryon irritans* の動態について
(発表者：水産試験場 研究員 堅田昌英)
- ・マダイ養殖による漁場への窒素・リンの負荷量算出
(発表者：水産試験場 副主査研究員 高橋芳明)
- ・魚類養殖の環境負荷を軽減する複合養殖について
(発表者：水産試験場 主査研究員 奥山芳生)
- ・和歌山県沿岸におけるカジメ・クロメの生物特性
(発表者：わかやま産業振興財団 副主査研究員 田中俊充)

2 学位・表彰等

◎学 位 名 長崎大学博士 (学術)

業 績 名 日高川および紀伊水道東部海域における海産アユ資源に関する生態学研究
(和歌山県農林水産総合技術センター水産試験場特別研究報告5号)

取得者氏名 吉本 洋

年 月 日 平成20年2月20日

3 研究員の派遣

月 日	内 容	派遣先	対象者
10月	クエ標識放流指導 〃 キジハタ標識放流指導 オニオコゼ標識放流指導	日高町 田辺市 御坊市 御坊市	町職員、漁業者 市職員、漁業者 市職員、漁協職員、漁業者 市職員、漁協職員、漁業者

4 研修生・見学者の受け入れ

1) 研修生の受け入れ

氏 名	所 属	研 修 内 容	期 間
串本西小学校の5名		キャリア教育実践プロジェクト	7.30～8.3
赤井先生	潮岬中学校	初任者体験実習	8.1～8.3
大南真緒	和歌山大学 システム工学部	アマモの生態	8.8～9.30

2) くろしおふれあい講座

(1) 参加者

県民ほか、串本高校、田辺第一小学校、古座小学校、和深小学校、太地小学校、下里小学校、上秋津小学校、出雲小学校、田原小学校、岐阜県中津川市坂下小学校、串本小学校、京都花園中学校、秋津川小学校、和深小学校、西向小学校、和歌山大学附属小学校

以上 1,500 名

(2) 内 容

・体験コース（魚の分類、海の幸料理、加工、調査体験）・博学コース・研究お手伝いコース

3) 見学者

月	漁業関係		学校関係		行政関係		県民一般		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	11	112	0	0	0	0	2	49	13	161
5	10	62	5	236	2	34	2	51	19	383
6	11	67	8	296	1	18	0	0	20	381
7	12	79	3	87	5	74	6	88	26	328
8	14	53	4	211	1	25	12	194	31	483
9	25	63	3	35	1	10	1	17	30	125
10	13	46	4	160	1	15	8	21	26	242
11	5	23	4	198	1	8	1	50	11	279
12	5	61	2	46	2	19	3	50	12	176
1	4	32	1	37	0	0	1	20	6	89
2	15	15	0	0	1	10	6	138	22	163
3	18	18	1	10	0	0	6	95	25	123
	143	631	35	1316	15	213	48	773	241	2933